

郵便業務管理規程の変更の内容

※下線部分は改正部分

現 行	改 正														
<p>(郵便切手類の発行)</p> <p>第4条 会社が発行する郵便切手その他郵便に関する料金を表す証票（以下この章において「郵便切手類」という。）は、<u>次の表のとおりとする。ただし、金額については、利用者の便益を考慮して会社が必要と認める場合には右欄に掲げるもの以外のものを発行することがあるものとする。</u></p> <p style="text-align: right;">単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 類</th> <th style="text-align: center;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郵便切手</td> <td><u>1、2、3、5、10、20、30、50、52、62、70、82、90、92、100、110、120、130、140、205、280、310、500、1,000</u></td> </tr> <tr> <td>郵便葉書の料額印面</td> <td><u>52、62</u></td> </tr> <tr> <td>国際郵便葉書の料額印面</td> <td><u>70</u></td> </tr> <tr> <td>郵便書簡の料額印面</td> <td><u>62</u></td> </tr> <tr> <td>航空書簡の料額印面</td> <td><u>90</u></td> </tr> <tr> <td>特定封筒の料額印面</td> <td><u>180、360、510</u></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	金 額	郵便切手	<u>1、2、3、5、10、20、30、50、52、62、70、82、90、92、100、110、120、130、140、205、280、310、500、1,000</u>	郵便葉書の料額印面	<u>52、62</u>	国際郵便葉書の料額印面	<u>70</u>	郵便書簡の料額印面	<u>62</u>	航空書簡の料額印面	<u>90</u>	特定封筒の料額印面	<u>180、360、510</u>	<p>(郵便切手類の発行)</p> <p>第4条 会社が発行する郵便切手その他郵便に関する料金を表す証票（以下この章において「郵便切手類」という。）は、<u>その種類ごとに郵便に関する料金の支払の用に供するものとして利用者の便益を考慮して適切な金額で発行するものとする。</u></p> <p><u>2 会社が発行する郵便切手類の種類は、次のとおりとする。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <u>(1) 郵便切手</u> <u>(2) 郵便葉書の料額印面</u> <u>(3) 国際郵便葉書の料額印面</u> <u>(4) 郵便書簡の料額印面</u> <u>(5) 航空書簡の料額印面</u> <u>(6) 特定封筒の料額印面</u>
種 類	金 額														
郵便切手	<u>1、2、3、5、10、20、30、50、52、62、70、82、90、92、100、110、120、130、140、205、280、310、500、1,000</u>														
郵便葉書の料額印面	<u>52、62</u>														
国際郵便葉書の料額印面	<u>70</u>														
郵便書簡の料額印面	<u>62</u>														
航空書簡の料額印面	<u>90</u>														
特定封筒の料額印面	<u>180、360、510</u>														